

広瀬川で赤い水が流下

[第4報]

10月30日7時46分頃、広瀬川に赤い水が流れているとの警察からの情報を受けて、関係機関において情報収集及び調査を実施しております。

※下線部分が更新情報です。

1. 事故の概況

- ・発生場所：仙台市太白区向山二丁目地内（詳細調査中）
（広瀬川 霊屋橋（おたまやばし）下流の範囲で赤い水が確認された）
- ・発生時間：不明
- ・発生原因：調査中

2. 現地確認時の状況

- ・別添の写真参照

3. 現在までの状況（11月19日15時現在）

【水質調査】

仙台市による水質検査結果

項目	単位	広瀬川 愛宕堰 (10/30 採水)	広瀬川 愛宕大橋 ※1 (R4 平均値)	基準値 ※2
pH	—	8.5	8.2	6.5 以上 8.5 以下
BOD	mg/L	1.3	0.7	3 以下
SS	mg/L	6.0	2	25 以下
溶解性鉄	mg/L	0.29	—	
溶解性マンガ	mg/L	不検出	—	
全鉄	mg/L	1.1	—	
全マンガ	mg/L	不検出	0.02	
アンモニア性窒素	mg/L	不検出	0.05 未満	
亜硝酸性窒素	mg/L	不検出	0.007	10 以下
硝酸性窒素	mg/L	0.23	0.25	

※1 公害関係資料集（令和4年度測定結果） 仙台市環境局より

※2 水質汚濁に係る環境基準（環境省）より

愛宕堰における水質分析結果

- ・ pH（酸性、アルカリ性の度合い）・・・8.5（平均値 8.2）
- ・ BOD（水中にある有機物を分解するのに必要とする酸素の量）
・・・1.3mg/L（平均値 0.7mg/L）
- ・ SS（浮遊性物質の量）・・・6.0mg/L（平均値 2mg/L）

⇒水質検査の結果、これらの項目に大きな異常等は見られないが、浮遊性物質の値が平均値よりやや高いものとなっている。溶解性鉄および全鉄の濃度から、赤水の原因となった可能性があるものと考えられる。

【発生源調査】

- ・ 10月30日 仙台市下水道南管理センターで向山二丁目地内の雨水吐口を調査。
- ・ 10月31日 仙台市下水道南管理センターで向山二丁目地内の雨水吐口で、雨水吐口先に自然由来の鉄さびと思われるヘドロ状の堆積物が付着していることを確認。採取した固形物を分析中。
- ・ 11月18日仙台市下水道南管理センターによる雨水吐口から採取した固形物を分析（中間報告）
- ・ 現時点では、大量の鉄成分が含有されていることが確認された。引き続き、詳細分析を継続。（結果は11月末頃になる見込み）
- ・ 高濃度の鉄成分が検出されたことから、鉄分を含む粒子が地下水とともに排出されたことが、赤水の原因と考えられる。
- ・ 11月19日仙台市下水道南管理センターで雨水吐口内にある堆積物等の除去作業を開始。

【河川巡視】

- ・ 河川巡視（10月30日～11月19日）では異常は確認されておりません。濁りは消滅し、また魚のへい死が発生していないことを踏まえ、人の健康への影響はないと判断している
（発生場所付近～広瀬橋までを宮城県が実施 ※11月12日からは発生場所付近を実施）
（広瀬橋～名取川合流点までを仙台河川国道事務所が実施）

※現在まで、河川での異常は確認されておりませんが、お気づきの点があれば下記に連絡をお願い致します。

※今回までの調査結果を受け、多岐にわたる関係機関が連携を図り再発防止対策を円滑に進められるよう調整して参ります。

《記者発表先：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北建設専門紙記者会》

問 い 合 わ せ 先

名取川水系水質汚濁対策連絡協議会事務局

国土交通省 東北地方整備局 仙台河川国道事務所

仙台市太白区あすと長町4-1-60

河川管理課長 ヒラヤマ 平山 キョト 清人 Tel (022)-248-4131

宮城県 土木部 河川課

仙台市青葉区本町3-8-1

技術副参事 イシダテ 石達 ナオキ 直樹 Tel (022)-211-3176

課長補佐 チバ 千葉 カズナリ 一成

<水質検査結果関係>

仙台市 建設局 下水道管理部 下水道南管理センター

仙台市太白区郡山字上野4-1

管路管理係長 タカハシ 高橋 フミノリ 史典 Tel (022)-746-5061



出典：地理院地図に撮影場所等を追記して掲載

